

主にヨーロッパの温泉について

(スライドの説明にそえて)

伊 東 祐 一

(大阪学芸大学)

この春、ヨーロッパ9ヶ所、アメリカ1ヶ所の温泉地を巡って参りましたので、そのあらましをスライドによつてお話し致したいと存じます。もつともこの中の著名な温泉場については、皆様の中にはお出でになつた方もおありでしょうし、深く研究をされた方も御座いましよらから、ここでは私の眼で見、感じたことの一部を申し上げたいと思います。

アバノ・テルメ、ヴェニスに近い取り立てて風景のよい温泉地でもありませんが、泉量が豊富で、流石に本場だけあつてファンゴーの利用が盛んでした。又、オーラル・トリートメントということを強調しておりました。食塩泉、 $38^{\circ}\text{C}\sim 84^{\circ}\text{C}$

バーデン・バイ・チュリッヒ、古典的な静かな温泉場で、ホテルの室内にオゾン発生装置があつたことはいささか驚きました。社会保障制と申しますか、共済組合制度と申しますか、一般大衆が無償か、乃至は低額で充分温泉を利用出来るような施設が整つていたことは、うらやましい感が致しました。重炭酸土類泉、 $37^{\circ}\text{C}\sim 52^{\circ}\text{C}$

バード・ガスタイン、チロル地方に近い山の中の非常に風光明媚な温泉場です。古くから傷の湯として名があり、オーストリー科学アカデミー・ガスタイン研究所があります。所長のシュミンツキー教授からインスブルックのお宅にお招きを受けましたが、時間の都合上、お伺い出来ず残念でした。放射能泉、 $30^{\circ}\text{C}\sim 50^{\circ}\text{C}$

バーデン・バーデン、余りにも有名な温泉場です。飲泉館の立派なことは日本では想像もつきませんでした。バード・ハウスも幾棟があり、カジノも完備して、療養、遊樂共に充分にエンジョイ出来るような温泉場のようでした。弱食塩泉、 $40^{\circ}\text{C}\sim 75^{\circ}\text{C}$

バード・ナウハイム、緑の多い清潔な純療養向の温泉場で、心臓泉として定評のあることは、皆様の存知の通りです。ギーセン大学の研究所、マックス・プランク・ゲゼルシャフト研究所、州立のクール・ハウス、バード・ハウスなどがあり、ナトリウムも完備しております。炭酸食塩泉、含鉄炭酸泉、 $21^{\circ}\text{C}\sim 40^{\circ}\text{C}$

ヴィス・バーデン、日本でいうと別府か熱海のような都市温泉場です。シュピール・バンクはよく完備しており、ライン河に近く、行楽の温泉場として繁栄しているようです。200年前の馬の湯、100年前のコツホ・ブルンネンの古画は面白いと思いましたが、今は全くその面影を止めておりません。

食塩泉、 $30^{\circ}\sim 70^{\circ}\text{C}$

ヴィシー、中仏のアリエー河畔にある有名な温泉場です。この泉水の瓶詰はヴィシー水として広く販売されており、名が売れ過ぎているだけに、行つて見てなんだか期待外れがしたような気がしました。レクリエーション・リゾートとして夏は大変に賑うそうです。重曹泉、 $7^{\circ}\sim 38^{\circ}\text{C}$

アンギャン、パリの中にこんな所があるとは知りませんでした。池畔のささやかな療養地です。特に耳鼻咽喉科領域の患者が多く集るといふことです。はじめツンボが治ると聞いて驚きましたが、

耳管狭窄に対する消炎作用があるとのことでした。流化水素泉

バス、イギリスでは唯一の温泉場です。 ロンドンから西へ快速列車で3時間ばかりの所にあります。如何にもおつとりとしたイギリスらしい落ち着いたある温泉場です。非常に古くから開けて紀元前800年代の開湯伝説が伝えられております。 紀元43年ローマ侵入時の遺構であるローマンバスは今でも原形を残しており、中々美事なものです。放射能泉、49°C

サラトガ、アメリカでは時間と交通機関の関係から、ここしか寄ることが出来ませんでした。ここはアメリカの、特にニューヨークに近い代表的なレクリエーション・リゾートといわれています。この一割は州の管理下にあり、広々としかも整然としていることは、うらやましい限りです。日本にも一ヶ所位はこんな所をと思うのは私ばかりではないでしょう。 ごみごみと大厦高楼軒を並べ式の所ばかりを見つけた眼には、緑の中に点々と配置された建物を見た時には、ああ美しいなあと、しみじみ感じました。炭酸泉（食塩、ラドンを含むものもあり）10°~12°C

大会記事

8月20日から23日迄、4日間、鳥取三朝温泉で、第15回大会が開催された。20日は評議員会、21、22両日は研究発表、特別講演、シンポジウム、座談会、映画会など多彩の催しがあり、23日は人形峠、大山の二班に分れて、エキスカージョンが行なわれた。この間の参加者は全国各地から 150~160名の多数に上った。

研究発表、特別講演などは次号に掲載の予定である。

泉種泉温平大山開おれのの産ふ備一式しまつて株る株意地指直脚
重職さゆままのつ株る洋船衣(開神三朝自東想泉島)列前山録西
のを平翁

編輯 日工員037074400

編集 日工員037074400

会 会 持 泉 温 本 日 研 究 会
産 業 学 部 研 究 所 大 学 環 境 学 部 谷 田 川 環 境 中
心 2 0 0 8 1 1 京 車 特 速

〒 6 5 0 0 0 1 京 車 特 速
大 阪 市 西 区 南 船 場 2 番 5 号

大 阪 市 西 区 南 船 場 2 番 5 号